

獣害対策への取り組み強化

十津川村農業委員会

1. 十津川村の農業の概要

十津川村は奈良県の南端、紀伊半島の中央部に位置し、山と清流と温泉に恵まれた全国一広い面積の村です。急峻な地形で平坦な土地が非常に少なく、1戸当たりの農地の規模も小さい、自給的な農業が中心です。

近年では高齢化に伴う農業従事者の減少と相まって、過疎化に伴う遊林農地の増加、また、シカやサル、イノシシといった獣による被害も多発しており、多くの農業者を悩ませています。

2. 農業委員会の取り組み

十津川村農業委員会の活動としましては、村内でも大変問題となっている田畑等への獣による被害について、農業委員が一丸となって獣害対策に取り組んでいます。主に、田畑へ設置する防除網の設置支援（村にある補助金制度等の周知など）や獣の個体数を減らし、被害の軽減を図るため、数名の委員が狩猟免許を取得し、駆除等も積極的に実施しています。

また、高齢化に伴い、農業者も減少していることから、若者世代への農業アピール運動（農業指導）を実施して、新たな担い手確保に向けて取り組みを進めています。

高齢化率は40%を越え、農業者も年々減少はしているものの、90歳近い元気な現役の農業者も多数おられます。生きがいとなる農業を目指して、これからも活動を進めていきたいと思えます。



